



平成 27 年度

学校関係者評価報告書

学校法人郡山学院

ケイセン ビジネス公務員カレッジ

平成 28 年 8 月 3 日

学校法人 郡山学院
理事長 岡部 隆男

平成 27 年度学校関係者評価報告について

学校法人郡山学院ケイセンビジネス公務員カレッジでは、学校関係者評価規定に基づき学校関係者評価委員会を開催しました。その内容について議事録により報告いたします。

このたび、委員からご指摘いただきましたご意見・ご指導につきましては真摯に受け止め、学校の質保証・向上に向けなお一層推進してゆく所存です。

尚、今後とも一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

会議議事録

会議名	ケイセンビジネス公務員カレッジ学校関係者評価委員会
開催日時	平成28年8月1日(月曜日) 15:00～16:30
場所	本校1階会議室
出席者 (敬称略)	<p>① 委員</p> <p>企業等委員 税理士法人三部会計事務所 所長 三部 吉久 〃 平川物流センター所長 平川 泰司</p> <p>卒業生委員 郡山学院同窓会 会長 佐藤 和男</p> <p>保護者委員 郡山学院保護者会 元会長 佐藤 敬</p> <p>地域代表委員 郡山市方八町第三町内会 会長 渡辺 一雄</p> <p>② 学校</p> <p>理事長・学校長 岡部 隆男</p> <p>郡山学院高等専修学校 副校長 田中 浩幸</p> <p>ケイセンビジネス公務員カレッジ 副校長 遠藤 文夫</p> <p>ケイセンビジネス公務員カレッジ 参事 鈴木 孝一</p> <p>事務長 佐藤 宏巳</p>
欠席者	地域代表委員 郡山市清水台町内会 会長 竹内寛介
議題等	<p>① 開会 (司会進行 佐藤 事務長)</p> <p>② 学校長挨拶 (岡部学校長)</p> <p>創立50周年を前に名実ともに実を上げたい。そのためには自己評価・学校関係者評価に真摯に取り組み、将来的には第三者評価も実施したい。</p> <p>③ 議長選出</p> <p>郡山学院同窓会 佐藤会長が選任された。</p> <p>④ 平成27年度自己評価・課題・改善点の説明(説明者:遠藤副校長・佐藤事務長)</p> <p>財務を除く自己評価とその課題及び改善点について遠藤副校長から、財務については佐藤事務長から説明があった。</p> <p>⑤ 討議・意見交換</p> <p>詳細は別紙のとおり</p> <p>⑥ 閉会</p>

別紙

○討議・意見交換について

学校側からの自己評価・課題・改善点の説明に対し委員から出た質問・意見は以下のとおり。

1 教育目標…特になし

2 基本方針…特になし

3 今年度の重点目標について

(1)「しっかりしたあいさつ」のできる学生・職員をつくる

・校内での元気でさわやかなあいさつが大変良かったことから、今後とも継続してほしい。

(2)特になし

(3)特になし

(4)特になし

(5)特になし

(6)特になし

4 評価項目の達成、取り組み

(1)教育理念・目標…特になし

(2)学校運営…特になし

(3)教育活動…特になし

(4)学修成果

<面接指導について>

- ・面接のための面接の練習について、先生以外の社会人（OB等）との面接の取り組みはどうだろうか。
- ・学生同士の面接練習等により、客観的に考える取り組みはどうだろうか
- ・学生は自分の思っていることをあまり言えないことから、卒業生による面接指導や体験談を取り入れてはどうか。
- ・面接では、素直さ、人間性を重視されていると思われる。このことは、常日頃の行動が現れることから、普段から考えて行動することの大切さを指導してほしい。
- ・「何か質問ありますか？」という質問の際は、必ずポイントをついた質問をすること。

何もないのは意欲の面でマイナス評価となることから、事前に学習する指導をすること。

(5) 学生支援…特になし

(6) 教育環境…特になし

(7) 学生の受入れ募集…特になし

(8) 財務状況…特になし

(9) 法令等の遵守…特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・ 社会性、職業としての意識が重要である。誰かのためになるという意識である。社会のために役に立つといった経験が大切であることから、継続して取り組んでほしい。
- ・ 社会貢献の目的は、社会貢献することではなく、「ありがとう」と言われる経験が、自信につながり職業選択に生かされると考えられることから、積極的に取り組んでほしい。

以上